

原水爆禁止2010年世界大会代表派遣 News

発行：原水爆禁止日本協議会 電話：03-5842-6031 FAX：03-5842-6033

Eメール antiatom55@hotmail.com 2010年7月15日 No.10 国際会議まであと18日

NPT・ニューヨーク行動から広島へー青年組合員が多数参加

JMIUが代表団結団式

JMIU（全日本金属情報機器労働組合）は7月13日夜、東京北区のJMIU本部で「2010年世界大会JMIU代表団結団式・壮行会」が開かれ、代表団員を中心に20人が参加しました。

生熊委員長のあいさつに続いて、世界大会パンフを使ってミニ学習。日本原水協の安井正和事務局次長が、世界大会パンフのグラビアページを開いて、潘基文国連事務総長の「地平線の先に、核兵器のない世界が見えています。それを実現しようとする人びとが見えています。・・・」との演説部分を読み上げながら、5月のNPT・ニューヨーク行動の成果を報告。核兵器のない世界への次のステップに踏み出させるためにも、8月の世界大会の成功が決定的であり、NPT行動参加者が世界大会で大きな役割を果たすようよびかけました。

NPTに参加した青年組合員は「潘基文さんの言葉は、私に対して語られているように思った。とても励まされた。NPT行動に参加しながら、次は絶対に広島の大会に参加する決意をしていた」「NPT行動参加者が世界大会でも役割を果たさなければならない」と語り、ある支部の書記長（34歳）も「はじめて参加するが、5月のNPT再検討会議に注目していたので、世界大会に期待している」と世界大会参加の決意を語りました。JMIUの現在の代表は35名で、うち10名以上が19歳から30歳までの青年組合員です。

クラスの友人にも「ヒロシマへ行けへんか？」

大阪の高校生サークル「たこ焼きからピース」

「みんなで平和について考えよう、原水爆禁止2010年世界大会に参加しよう」と、大阪高校生平和サークル「たこ焼きからピース」は今年も「高校生ツアー・イン広島」を実施し、バスで広島に向かいます。

出発は8月4日朝。山口県岩国市に直行し、岩国基地を見学した後、世界大会の開会総会に参加します。6日までの3日間に平和公園内の碑を巡り、平和資料館も見学します。

7月25日には、大阪市内でプレ企画「被爆体験を聞く会」を開き、原爆症認定集団訴訟元近畿原告被爆者の木村民子さんからお話を聞きます。「折り鶴」宣伝も計画しています。

このほか、秋田では青年ツアー実行委員会が途中で山形の青年を乗せて20人乗りのマイクロバスで、栃木、神奈川、千葉、静岡、新潟、岡山もバスで広島へ向かいます。



世界大会パンフ・バッジ普及が昨年同数または超えた県

パンフ：北海道、青森、秋田、宮城、埼玉、千葉、神奈川、静岡、富山、奈良、兵庫、鳥取、島根、山口、愛媛、香川、大分、熊本、沖縄

バッジ：茨城、東京、千葉、新潟、岐阜、福井、奈良、和歌山、兵庫、香川、大分、熊本、鹿児島



最新情報はコチラ 原水協通信 blog | <http://www.antiatom.org/Gpress/>
携帯電話からもアクセスできます。